

市民参画と協働の為の情報共有の取組実績調査表

資料2 東区
H26.10.16

【東区まちづくり推進課】検証対象事業名及び概要、目的など

細事業名	概要
東区まちづくり推進経費 地域課題検討会	平成24年度、区内の各校区で聞き取り調査を行い、地域活動(団体)の課題を整理した。平成25年度から校区自治協議会連絡会のもとに、区民と区役所職員がともに地域課題解決に取り組むための検討会を設置した。(地域18名、区役所職員12名、計30名)(別紙資料①) 平成25年度は「地域の人材育成」「ごみマナー」についての課題解決に取り組んできた。

1 検証対象事業の参画・協働の取組実績(検証のチェックシート①)

参画・協働 の取組・説明	参画	・校区自治協議会の推薦で選ばれた住民と区職員が5~6人のグループに分かれ定期的に意見を交わした。 ・平成24年度地域課題検討会の取り組みテーマである「地域団体の人材育成」「ごみマナー」について、実情を把握するため、区民2000人及び地域団体に対してアンケートを実施した。(別紙資料②)
	協働	校区自治協議会連絡会議及び地域課題検討会で情報の提供及び共有を行うと伴に、地域の方々と区役所職員とで、ごみマナーで16件、人材育成で8件の課題解決案を策定した。(別紙資料③)

2 検証対象事業の情報共有の取組実績(検証のチェックシート②)

情報発信の時期	下記のとおり校区自治協議会において情報発信し共有してきた 平成24年8月 校区自治協議会を対象にヒアリングを実施 平成24年11月 校区自治協議会連絡会においてヒアリングの結果から各校区に共通する5つの課題について報告 平成25年3月 校区自治協議会連絡会において、具体的な改善策を地域課題検討会で取り組むことに同意を得る その後、地域課題検討会への参加者を募る(地域+区役所職員) 平成25年9月 平成25年度地域課題検討会発会 以後、平成26年1月まで検討会を7回開催(別紙資料④) 平成26年2月 校区自治協議会連絡会において地域課題検討会の結果報告及び平成26年度地域課題検討会の実施及びモデル地区を設けて試行的に実施することに同意を得る 平成26年5月 エデル地区(6町内)への取り組み開始
活用した情報媒体	平成24年11月以降、校区自治協議会連絡会での会合において、何度も職員が出向き情報の発信共有を行ってきた 平成25年度にまとめた改善策はHP上でも公表してきた
対象者の興味関心を引くための工夫	校区自治協議会連絡会等の会合に出席し、直接顔を合わせ説明することにより信頼関係を構築し、その後の取り組みにつなげた。 課題検討会は地域の課題を解決するための具体的な方法について、各校区の方のみならず、区役所職員と一緒に協働していき場であること、お互いのスキルアップを図るための研修の場でもあることをアピールしてきた。
事業の目的や内容について、対象者の理解を深めるための工夫や取り組み	住民と区役所職員が同じ立場に立つことができるよう地域課題検討会の進行管理はまちづくりの専門業者が行うものとした 個別の検討会では、参加者を5~6名の班に分けワークショップを行い意見を出しやすいような環境づくりを行った
事業の目的や必要性が、対象者に浸透していると思われるか	地域から参加している方々は校区自治協議会長や自治会長など経験豊富な方々ばかりであるが、他の校区の実情はあまり知らないようであった。しかし、検討会に参加することで、他の校区の実情を知る機会にもつながり、多くの「気づき」を得られたのではないと思われる。 また、職員についても、各校区の実情や課題及びその解決方法に対していかに苦労しているのかといった「想い」を知ることができたことで、今後の業務に活かしたいといった声も聞かれた。

3 細事業における、市民参画・協働による効果について(検証のチェックシート③)

<p>課題に対して地域の方々と区役所職員とが一緒になって話し合うことができた</p> <p>地域の方々と区役所職員とで、ごみマナーで16件、人材育成で8件の課題解決案を策定できた</p> <p>地域の方々は、他自治会での成功例などを知ることができた</p> <p>区役所職員も地域の課題を再認識できた</p> <p>参加者同士の人脈が形成できた</p>
--